

# 第4回 死刑映画週間

# 人は人を裁けるのか



無実の死刑囚・袴田巖さんが48年ぶりに釈放された。  
再審の開始と、死刑および拘置の執行停止が決定されたからだ。  
一審段階から無罪を確信していた裁判官すらいたのに。  
だが、検察は、なおも袴田さんは有罪だとして即時抗告し、  
再審開始を妨害している。  
不当な理由と手続きで、人を裁くことを恐れぬ人びとが  
司法の現場にはいる。  
これは、心底、恐るべきことではないのか。  
—— 論理と倫理を欠いた人びとが「人を裁いている」現実を、  
怒りを込めてふりかえる一週間！

© 東映

映画+監督+制作年+語る人（一回限り、裏面参照）

『死神博士の栄光と没落』  
(エロール・モリス 1999) × 柳下毅一郎

『ゼウスの法廷』  
(高橋玄 2012) × 木谷明・安田好弘

『私は貝になりたい』  
(橋本忍 1959) × 内海愛子

『軍旗はためく下に』  
(深作欽二 1972) × 太田昌国

『北朝鮮強制収容所に生まれて』  
(マルク・ヴィーゼ 2012) × 青木理

『BOX 袴田事件 命とは』  
(高橋伴明 2010) × 袴田巖・袴田秀子

『天国の駅 HEAVEN STATION』  
(出目昌伸 1984) × 北原みのり

『証人の椅子』  
(山本薩夫 1965)

2015年

2月14日(土)～2月20日(金)

渋谷 ユーロスペース

東京都渋谷区円山町 1-5 KINOHAUS 3F

